

グリーンスローモビリティシンポジウム



2018年6月25日
豊島区都市整備部参事
交通・基盤担当課長

原島克典



豊島区の紹介

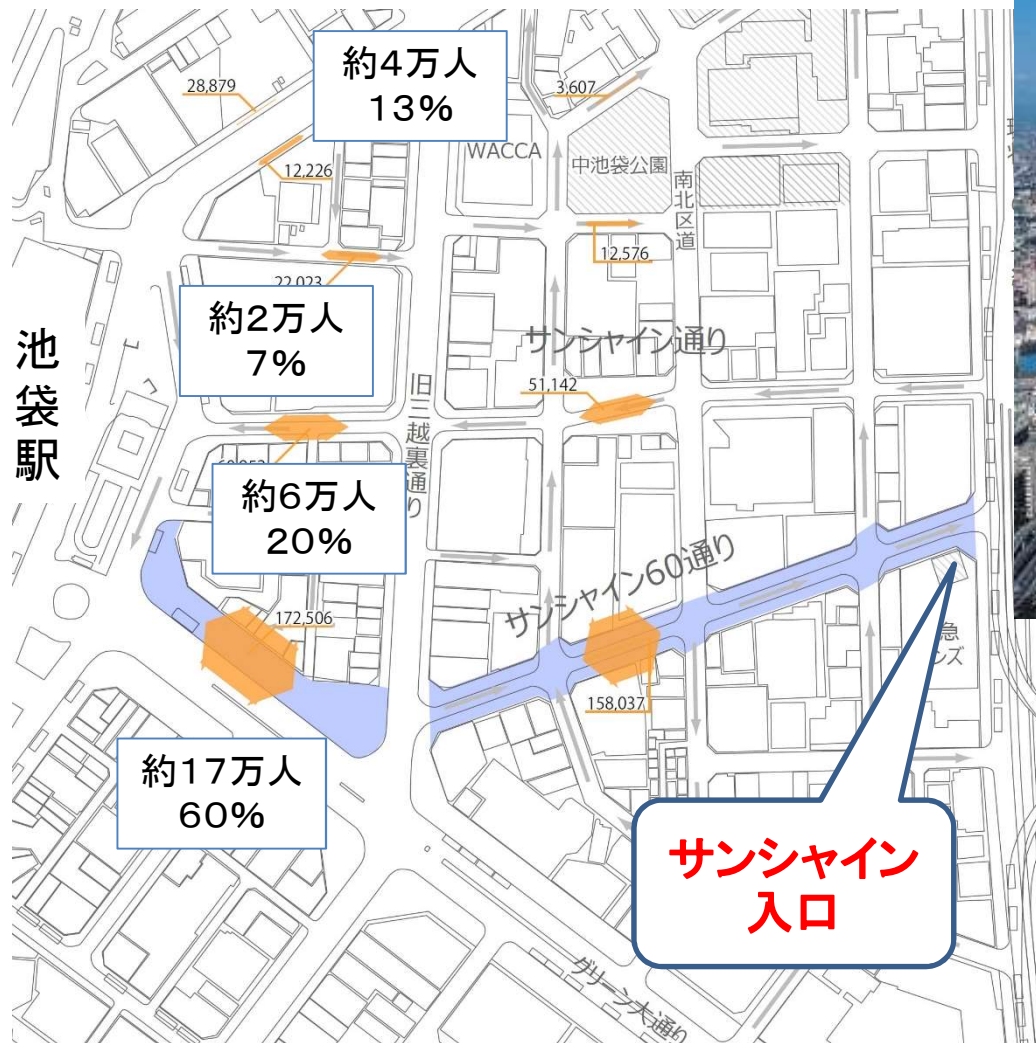
- ・東京23区の中で西北部に位置する
- ・5社11路線が区内を走っており、16の駅がある。
- ・池袋駅は264万人／日（国内第2位）
区内どこからでも10分歩けば駅に着くという利便性を持ち、都心へのアクセスも容易である。



- ・面積…13.01平方キロメートル
(23区中18位)
- ・人口…289,600人
(平成30年6月現在)
- ・人口密度…222.6人/ha
(日本一の高密都市)

サンシャインシティ開業

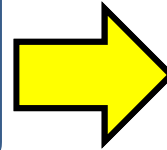
サンシャイン60は建設当時東洋一の高さ。(240m)



昭和53年完成
本年で40歳

「消滅可能性都市」から「持続発展都市」へ

平成26年5月8日
日本創成会議による発表
「消滅可能性都市」



ピンチをチャンスに！
人口減少社会への
豊島区の挑戦

これからの豊島区のまちづくり
個性と存在感を発揮する「住みたい、訪れたい」まちへ

住みたいまち

定住人口の確保

選ばれるまち

訪れたいまち

交流人口の拡大

女性にやさしい
まちづくり

地方との共生

対策の4つの柱

高齢化への
対応

日本の推進力

国際アート・カルチャー都市構想

世界を視野に置いたまちづくりの展開

豊島区庁舎の移転



官民連携で公共インフラ整備

市街地再開発事業を活用して、区有財産を最大限に活用し、新たな借金をせずに新庁舎を建設

全国初のマンション一体型新区庁舎

池袋の新しいランドマークに



～終わりなき挑戦～

基本コンセプト1
多様性を活かしたまちづくり

基本コンセプト2
出会いが生まれる劇場空間

基本コンセプト3
世界とつながり人々が集まるまち

<低層部のにぎわい創出に関する計画>



※提案時の考え方を示すものであり、今後変更となる可能性があります

東アジア文化都市2019

文化庁が行う文化交流の国家プロジェクト 東アジア文化都市。豊島区が、2019年の開催候補都市に決定。

開催年	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
日本 	横浜市  東アジア文化都市 2014横浜 Culture City of East Asia 2014 YOKOHAMA	新潟市  東アジア 文化都市 2015新潟市 Culture City of East Asia 2015 NIIGATA	奈良市  東アジア 文化都市 2016奈良市 Culture City of East Asia 2016 NARA	京都市  東アジア文化都市 2017京都 Culture City of East Asia 2017 KYOTO	金沢市  KANAZAWOW! 東アジア文化都市 2018金沢 Culture City of East Asia 2018 KANAZAWA	豊島区
中国 	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	未定
韓国 	光州広域市	清洲市	済州特別自治道	大邱市	釜山広域市	未定



春・夏・秋・冬をとおして多彩なイベントが展開される「池袋駅周辺4公園」の整備

●2020年 東京オリンピック・パラリンピックまでに実現！



2019・秋 リニューアル

本格的な野外劇場に生まれ変わる
東京芸術劇場との連携

■池袋西口公園

・従来のイベントに加え、ダンス、ミュージカル、演劇、オーケストラ演奏も可能



2019・秋 リニューアル

年間1000万人を集客
宝塚公演、ミュージカル、シネコン

■中池袋公園

・アニメの聖地、コスプレイベント
・8つの劇場と連携したイベント

■ LRT実現に向けた電気バスの導入
平成31年度運行開始予定
水戸岡鋭治氏のトータルデザイン



4つの公園を基本として池袋副都心を回遊する新たな移動の装置



2016・4 オープン

人気沸騰！芝生広場が心地よい

■南池袋公園

・仮設の野外ステージ、能舞台
・新能、日本舞踊など、日本の伝統芸能を発信

2020・春 オープン

防災機能を備えた にぎわい拠点

■造幣局跡地の防災公園

・フラットな広場を活用した野外イベント
・屋外対応可能なコンベンション



池袋副都心移動システム2019運行開始

低速電動バス

TOSHIMA OMNIBUS

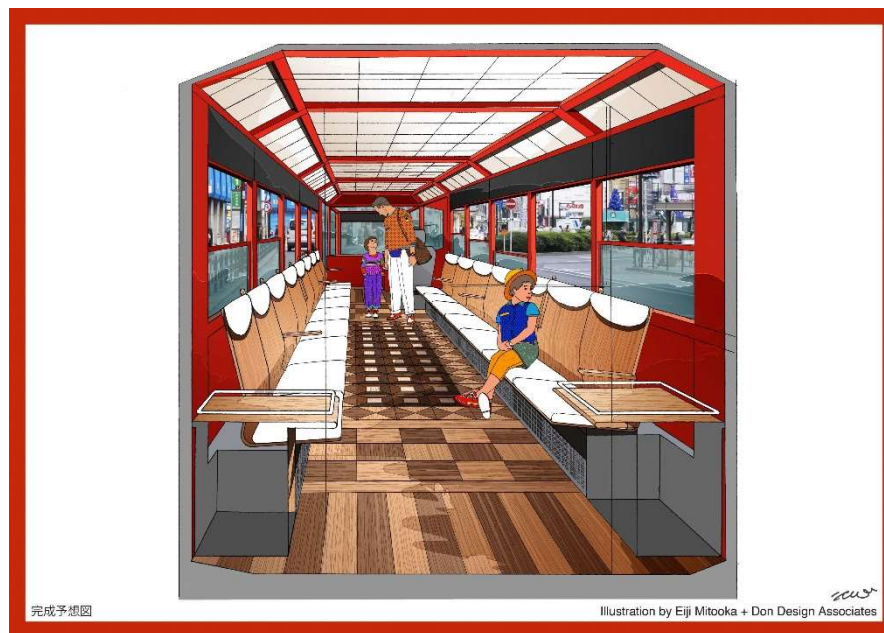


TOSHIMA CITY

2018.01.31 Illustration by Eiji Mitooka + Don Design Associates

池袋の魅力を創出し、まちの価値を上げる装置として導入する。

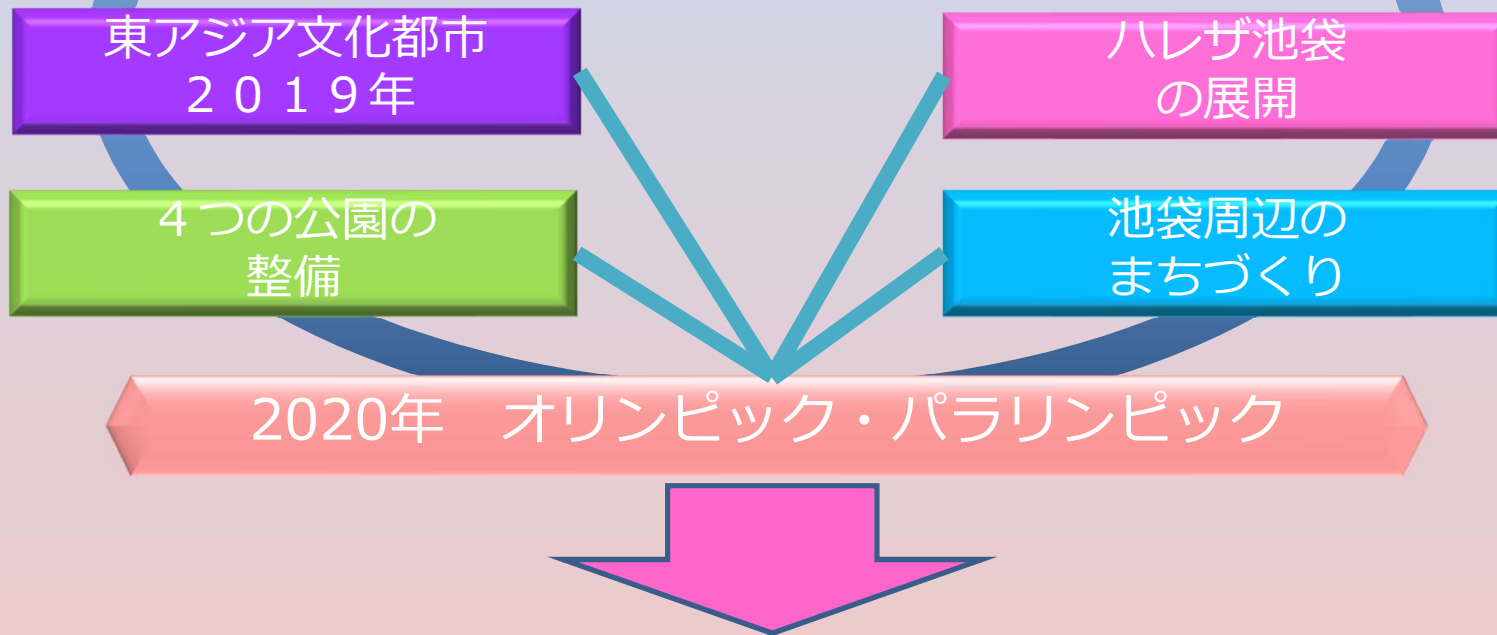
車両はEcom10をベースにJR九州ななつ星をはじめ、多くの車両デザインを手掛けている水戸岡鋭治氏がデザインする。車両のみならず、停留所、制服、チケットに至るまで本システムのトータルデザインを実施



完成予想図

Illustration by Eiji Mitooka + Don Design Associates

低速電動バスは街の価値 を上げる回遊装置



まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市
国際アート・カルチャー都市